



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 年度 国際ロータリー会長  
ホルガー・クナー



NPO 法人オーケストラ創造 坂本一生様、卓話をありがとうございました！

# W E E K L Y R E P O R T

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

国際ロータリー第 2720 地区

熊本南ロータリークラブ

週報

例会日：毎週月曜日 12：30～13：30

例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日：昭和 33 年 9 月 1 日（承認昭和 33 年 11 月 24 日）

会 長：河津延雄 / 幹事 丸山浩之 / クラブ広報委員長 / 大津英敬



## 第17回例会記録(通算第 2858 回)

令和 3 年 (2021) 年 3 月 2 2 日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

来訪者紹介

坂本一生様 (NPO 法人オーケストラ創造)

## 会長報告 (河津延雄君)

皆さま、こんにちは。本日もご出席ありがとうございます。  
本日の来訪者と卓話者はくまもと復興国際音楽祭プロデューサー  
で NPO 法人オーケストラ創造 理事長の坂本一生様です。坂本理事  
長はクラシック音楽の普及活動にも尽力されています。今日はよ  
ろしくお願いいたします。

昨日は第 12 回オハイエくまもと「とっておきの音楽祭」の動画  
配信が開催されました。熊本南 RC では丸山幹事から例年通り支  
援金 10 万円を贈呈させていただきました。丸山幹事お世話になりま  
した。

今回は理事会等の報告事項はございませんので、最近見た本  
の中から誰かに教えたい科学技術の話として東大名誉教授の月  
尾嘉男さんのコラムを紹介いたします。昨年 6 月に日本が開発し  
たスーパーコンピュータ「富岳」の計算速度が世界最速と認定さ  
れたことは皆さんご存じの通りです。日本のコンピューターはこ  
れまで 1993 年、1996 年、2002 年、2011 年にも世界の首位を獲  
得しています。久しぶりの快挙となりましたが科学技術分野の論文  
件数が日本では工学で 6 位だったのが 16 位、医学で 8 位から 11  
位、全体で 4 位から 9 位と低下しているとの事です。

## 今日の例会

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 会長・幹事報告
- 4 外部卓話 杉田 成様

## 今月・来月の行事

- 4/18 2021-22 地区研修・協議会@Zoom  
4/26 クラブ協議会④

今回は日本で最初に開発した技術を紹介されています。1つ目は麻酔技術を開発した紀州の医師 華岡青洲で、近代医学では 1846 年にアメリカの歯科医師ウイリアム・モートンがエーテルを使い手術に成功しています。華岡青洲はそれより 42 年前に日本で全身麻酔による乳癌の手術に成功しています。2つ目は 1893 年に三重県英虞湾で養殖真珠生産に成功した御木本幸吉。3つ目はインスタントラーメンの特許を公開することにより世界中に即席麺を浸透させた安藤百福です。チキンラーメンは 1958 年に発売されていますが、即席めんとしては 1955 年に松田産業が「味付中華麺」、1958 年には大和通商が「鶏糸麺」、東明商行が「長寿麺」を発売しているとの事です。尚「長寿麺」は第 1 次南極観測隊が南極に持参し食べたことで有名だったそうです。4つ目はどこでも音楽を鑑賞できる「ウォークマン」。現在では若者はスマートフォンの記憶装置に蓄積された音楽か、無線で送信されてくる音楽を聴いていますが、移動しながら音質の良い音楽を鑑賞できるようになったのは 1979 年ソニーが発売した「ウォークマン」で創業者の一人、井深 大が飛行機の中で一人で音質の良い音楽を鑑賞できる装置の開発を依頼したことから開発できた商品だそうです。5つ目は海底の深部を調査する「ちきゅう」です。深海掘削専用の船舶「ちきゅう」は 2005 年に完成。全長 210 メートル、57 トン鋼船で中央に 120 メートルの鉄塔があり海上の一点に停止して水深 2500 メートルの海底から地殻を貫通して 7500 メートルの地底まで掘削できる能力があり、資源探査や地震研究などに活躍しているそうです。最後の 6つ目は水族館の巨大水槽を作っている香川県の「日プラ株式会社」沖縄美ら海水族館の巨大水槽、前面は縦 8.2 メートル、横 22.5 メートルの一枚パネルはアクリル樹脂でできた厚さ 60 センチ、重量 135 トンのパネルで 2005 年まで世界最大の水槽です。パネルを納入した水族館は世界中に 420 館以上あり、シェアは 7 割だそうです。世界で最初を実現した人物や企業を紹介しました。

以上、会長報告です。

出席報告 (藤山直秀君)		
会員数	出席数	出席率
62名	36名	60.00%
出席規定適用免除者 2名	欠席記録免除者 1名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)		

## 幹事報告 (丸山浩之君)

1. RI 第2720地区 硯川昭一ガバナーより「地区大会ライブ配信ご視聴の御礼」が届いております。
2. 例会終了後「臨時理事会」を開催いたします。関係各位はご参加をお願いいたします。
3. 来週 (3/29) 例会は「定款に基づき休会」です。次回は4/6 (月) 12:30~の予定です。ご注意ください。

## 例会変更のお知らせ

○東 RC~親睦会のため時間変更

[変更前] 4月6日(火)12:30~

[変更前] 4月6日(火)19:00~

○東南 RC~親睦会のため時間変更

[変更前] 4月7日(水)12:30~

[変更前] 4月7日(水)18:30~

## 臨時理事会報告 (河津延雄君)

1. 鬼木幹生会員の退会について (3/31付)

⇒承認されました。

2. 2020-21年度寿崎奨学会寄付について

⇒徴収なし (一般会計より支出) が承認されました。

## 委員会報告

### ●社会奉仕委員会 (園田修司君)



皆さま、こんにちは。社会奉仕委員会よりご報告です。昨日3月21日(日)オハイエくまもと「第12回とっておきの音楽祭」が動画配信にて開催されました。当日は丸山幹事にご出席いただき、支援金100,000円をお渡しいただきました。YouTubeにて演奏者のフルバージョンも配信されていますので是非ご視聴ください。



●スマイルボックス(三角雄介君)

○河津延雄君・後藤 博君・丸山浩之君・玉田光識君  
森本康文君

本日の卓話者 坂本一生様に心から感謝いたします。  
卓話を大変楽しみにしています。

○沼野修一君

本日の卓話者 坂本一生様に心から感謝します。本日の卓話楽しみにしております。

○北口 誠君・谷口英樹君

本日の卓話者 坂本一生様に心から感謝します。

○川崎 博君

桜も満開。いい陽気になりレストランのお客様も少しずつ戻ってきました。心から感謝いたします。

○西川尚希君

今日は所用のため早退しますので、お詫びのスマイルです。



●外部卓話 (沼野修一君)

「くまもと復興国際音楽祭」

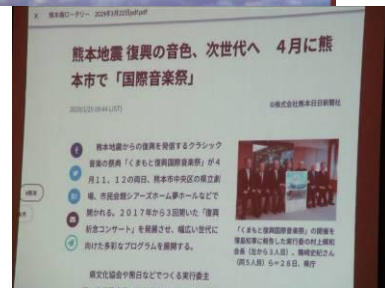
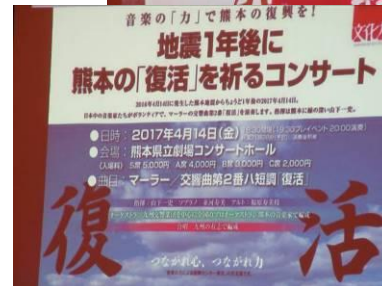
坂本一生様 (NPO 法人オーケストラ創造)



新型コロナウイルス感染症の完全収束は未だ先が見えない中ではありますが、社会活動は”with corona “で動いています。2020年4月11日に開催予定だった「くまもと復興国際音楽祭」は、熊本地震からの復興を祈念してくりひろげられた音楽活動をもとに、さらに「音楽の力は、大きな感動や喜びをもたらし、人の心、人生を豊かにする」ことを伝えたいと企画されました。

今、日本だけでなく世界中が新型コロナウイルスに翻弄され歴史的な困難・混乱期にあり、特に音楽をめぐっては厳しい環境にあります。また、熊本はこの7月、豪雨災害にも見舞われ蒲島熊本県知事は「熊本地震、コロナ、豪雨災害の三重苦にある」と表現されました。しかし、困難な時期であっても、音楽による”創造的復興“の種火を消してはならないとの思いで「音楽の力」をくまもとから発信し続けたいと思います。

今年は、たくさんの音楽コンサートを開催することはできませんが、配信・リモート・オンラインなど新しい音楽発信のカタチを利用して発信します。@HOMEで外出を自粛されているご年配の方や、小さなお子様、赤ちゃんを抱えるお母さまなどにも気軽にお楽しみ頂けたらと思います。クラシックに興味がなかった方にも、¥1,000(税込)で、日本を代表する世界に通じるNHK交響楽団の第1コンサートマスター篠崎史紀氏のリサイタルをお楽しみいただき、クラシック音楽の世界を少しかじっていただけたらと思います。アフターコロナの来るべき日に向かって、今は“できることを、できるだけで！熊本は負けない！音楽は負けない！”をコンセプトに、「くまもと復興国際音楽祭～序章～」始動します。



【例会予定】

- 4/12 (月) 外部卓話 永田壮一様 (PG/熊本城東RC)
- 4/19 (月) 新入社員卓話 濱崎剛自君
- 4/26 (月) クラブ協議会④

## ◆RI ニュース (国際ロータリーHP より)

### 「農村でのトイレ設置・衛生教育プロジェクト」



1991年、ピナツボ山が600年ぶりに噴火しました。家屋や農場を破壊し、ルソン島（フィリピン）中部の高地に住む先住民族アエタ族の多くが避難を余儀なくされました。アエタ族にはいくつかの民族がありますが、ここはマグ・アンツイの子孫が居住しており、噴火後に政府によって再定住することとなりました。それ以来、多くの人々が先祖代々の土地に戻り、コミュニティの再建に取り組んでいます。

Floraのコミュニティでは約43家族、近くのKawayanでは79家族が農業を生業としています。ほかの地域のアエタ族は政府から先祖代々の土地の所有権を認められていますが、これらのコミュニティのアエタ族は再定住の時期に低地の人びとが競って権利を主張したため、土地が縮小し、生計を立てることが困難となりました。

また、同国のほかの多くの世帯（一千万以上）と同様に衛生設備が整っていません。フィリピン政府は、人口1億900万人への水の供給を進めてきましたが、衛生設備を拡充する長期的な計画は遅れており、特に農村部で顕著となっています。ユニセフの報告書によると、このような衛生設備の不足は下痢やコレラといった疾病を生む要因となり、それが就学率の低下、栄養不良、口内衛生の悪化、さらには屋外での個人衛生を強いられた女性への暴力につながる可能性があります。

この問題に対応するため、イントラムロス・マニラ・ロータリークラブは、水と衛生のプロジェクトを立ち上げ、実行前に現地の人びとと親交を深めて賛同を得ました。また、民族文化、歴史、社会経済状況、家族構成、生計手段、交通手段などを含む現地の情報を集め、それらを土台としてプロジェクトを進めました。FloraとKawayanのコミュニティに25基、バボに3基のトイレを設置しました。ロータリー会員は現地を訪れ、衛生習慣、プロジェクトへの意欲、トイレに対する要望などについて調査しました。

会員は実行前に現地の人びとと親交を深め、賛同を得ました。また、民族文化、歴史、社会経済状況、家族構成、生計手段、交通手段などを含む現地の情報を集め、それらを土台としてプロジェクトを進めました。

「最初に訪れたときに、部族のリーダーから話を聞き

ました。それまで非政府組織や政治家がたびたびやってきては、トイレを作ると約束してくれたそうです。しかし、それが実現することはありませんでした」と、イントラムロス・ロータリークラブ会員で、プロジェクト責任者であるフローレン・ナグイットさんは振り返ります。

Floraのコミュニティでは、2018年初め、道路が通行しやすくなる乾季に作業を開始しました。オーストラリアのベイトマンズベイ・ロータリークラブと協力して、実行メンバー3名と地元ボランティアからなるチームを編成し、ジープやカラバオで資材を運びました。山道を越え、渡った川の数は26にもなりました。

浄化槽の設置、基礎工事、壁や屋根の建設、タイルの敷設、便器の設置、ソーラーランプの追加、使用方法や注意事項の掲示などが行われました。Kawayanでの工事は、Floraでのトイレ設置後に開始され、2020年初頭にプロジェクト全体が完了しました。

また、このプロジェクトでは、人びとの行動を促すため、政府雇用の地元教師に少額の給料を支払い、2〜3家族ごとのグループを対象とした3つの衛生方法のワークショップを行いました。

水と衛生のロータリー行動グループの副委員長であるマーク・バラさんは、次のように話します。「人びとの行動を変えていくことは困難な課題です。今まで問題ないと感じていた方法とは異なることをしてもらうのですから」。しかし、行動が変わらなければ、結局は過去の習慣に戻り、トイレは放置され、荒廃するでしょう。

何よりも大切なのは忍耐力です。「不完全な結果になることもあるでしょう。完璧なプロジェクトは存在しません。継続的な改善のために努力していくことを理解する必要があります」

モニタリングと成果の測定が重要であるという認識の下、ロータリー会員は、アエタ族とのフォローアップ調査を行い、トイレの使用や手洗いの行動について調べました。

2020年初頭はコロナ禍の影響、またその後は雨季（9〜12月）による通行困難のため、訪問が中断されていましたが、2021年には再開される予定です。

